全体活動報告　齊藤凌大

今年度も昨年度に引き続き大学から対面活動の制限が課されていました。依然として厳しい状況ではありましたが、夏キャンをどうにかして出来ないものかと考えました。そこで私たちは昨年度から培ったオンラインでの活動の技術を活かし、オンラインと対面をうまく組み合わせて夏キャンを行う方向となりました。オンラインで可能な活動はオンラインで行い、飲食を禁止するなど感染防止に努め、3日間にわたって夏キャンを行うことができました。

結果として後輩からは「夏キャン楽しかったです」や「ESSに入ってよかったです」などの声が聞けました。例年と全く同じ夏キャンとはいきませんでしたが、同期や様々な人の協力もあって、先輩から受け取った愛を後輩たちに途切れさせることなく繋げられたと思います。このような状況下で何かできないか考え抜いてやり遂げたことは私たちの大きな財産となりました。

